

令和5年度

事業報告書

3 主務官庁の許可・認可又は承認の状況

年 月 日	許可等の事項
令和5年6月29日	京都府知事へ令和4年度事業報告書及び収支決算について提出
令和6年3月30日	京都府知事へ令和6年度事業計画書及び収支予算について提出

4 新型コロナウイルス感染防止の取組

過去の経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に留意し、発掘調査事業ならびに普及啓発事業を進めた。

5 事業

(1) 発掘調査受託事業

令和5年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、1,142,600,000円（契約件数22件）であったが、調査の進捗状況等により、最終的な契約額は、1,071,328,190円（契約件数24件）となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,142,600,000円	1,071,328,190円	71,271,810円 (減)
契約件数	22件	24件	2件 (増)
発掘調査 (北部)	5件	5件	0件
発掘調査 (中部)	6件	6件	0件
発掘調査 (南部)	7件	8件	1件 (増)
発掘調査 (市町支援)	1件	2件	1件 (増)
整理報告	6件	6件	0件
普及啓発	1件	1件	0件
出土品整理	1件	1件	0件
京都学・丹後文化資源	1件	1件	0件

現地説明会や現地見学会などの実施状況は、下表のとおりである。

開 催 日	遺 跡 名	備 考
7月15日 (土)	法貴古墳群 (亀岡市)	現地説明会 参加者 56名
9月23日 (土祝)	井手遺跡 (亀岡市)	現地説明会 参加者 39名
9月27日 (水)	井手遺跡 (亀岡市)	亀岡市立本梅小学校現地見学会 参加者 10名
10月28日 (土)	佐屋利遺跡 (京丹後市)	現地説明会 参加者 98名
10月29日 (日)	大宮峰山関連遺跡 (京丹後市)	周枳地区公民館祭発掘出土品展示
11月5日 (日)	井手遺跡 (亀岡市)	本梅町文化祭出土遺物展示
11月7日 (火)	法貴古墳群 (亀岡市)	亀岡市立曾我部小学校現地見学会 参加者 32名

11月25日(土)	千代川遺跡(亀岡市)	京都橘大学文学部歴史遺産学科校外授業 受講生16名
2月3日(土)	カンジョガキ遺跡 (京丹後市)	現地説明会 参加者67名
2月17日(土)	拝田14号墳(亀岡市)	現地説明会 参加者132名

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果等
2	幾地城跡	与謝野町幾地	弥生時代の墓壇5基、土器棺墓1基などを検出。棺底から鉄剣などが出土。
3	法貴古墳群	亀岡市曾我部町	A地区の56号墳は、横穴式石室の玄室が2×2.4mの正方形プランである。B地区の20・27号墳は、墳丘や天井石が完存している。他に方墳2基、円墳13基を調査。
4	拝田14号墳	亀岡市千代川町	埴輪・葺石・周濠をもつ直径30mの円墳。
7	カンジョガキ遺跡	京丹後市大宮町	古墳時代後期の横穴墓、竪穴建物。
	老田遺跡		弥生時代中期の木組井戸、土器埋設取水坑。
	松田古墳群		5基からなる弥生時代後期末頃の台状墓。墳丘上で原位置を保った供献土器を検出。最下段テラスの墓壇上で銅鏃9点以上、鉄鏃1点が出土。埋葬施設36基。
10	佐屋利遺跡	京丹後市峰山町	15世紀後半の幅8m、深さ6m、検出長36mの堀を検出。16世紀末に埋められる。丹後地域最大規模の堀と同地域初出の楽焼。
16	フキ岡遺跡	京丹後市弥栄町	弥生時代中期後半の竪穴建物。
20	女布遺跡	舞鶴市女布	中世の掘立柱建物と中国製白磁椀1点と同皿4点を埋納した土坑。

調査報告集については、各300部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、資料2のとおりである。

『京都府遺跡調査報告集 第193冊』 令和6年3月25日

『京都府遺跡調査報告集 第194冊』 令和6年3月25日

『京都府遺跡調査報告集 第195冊』 令和6年3月29日

(2) 普及啓発事業

「埋蔵文化財セミナー」「成果展」「埋蔵文化財リーフレット」「京都の歴史体験講座」「出土文化財再整理事業」は、京都府教育委員会からの委託事業「京都の史跡・埋蔵文化財活用事業」として実施し、機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や出前講座・体験授業等のほか、兵庫県立考古博物館・大中遺跡公園で実施された大中まつり古代体験フェスティ

バルに考古学体験ブースを出展した。
 また、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日2023」関連事業として考古学講座を実施した。なお、令和4・5年度の当該事業事務局を当調査研究センター・(公財)向日市埋蔵文化財センター・(公財)元興寺文化財研究所の3法人が担当し事業運営を行った。一方、職員の資質向上のため共同研究事業を引き続き実施している。例年、京都向日町競輪場で開催される「向日市まつり」では考古学体験ブースの運営をしていたが、昨年度に引き続き中止であった。最後に、当調査研究センターでは、学術研究や埋蔵文化財保護の啓発として「資料調査」の受入れや「資料貸出」「写真掲載」依頼に基づき画像提供を行っている。

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために今年度は3回（参加者266名）開催した。内容については、次表のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
152	令和5年8月19日（土）	『京都府内の発掘成果速報』 ・京丹後市佐屋利遺跡の発掘調査 当調査研究センター 森島康雄 ・京都市淀水垂大下津町遺跡の発掘調査 (公財)京都市埋蔵文化財研究所 松永修平氏 ・城陽市芝山古墳群の発掘調査 当調査研究センター 菅博絵	向日市永守重信市民会館 (参加者83名)
153	令和5年12月9日（土）	『奈良山をめぐる宮都と土器生産』 ・奈良山をめぐる宮都・集落・窯跡」 当調査研究センター 筒井崇史 ・幻の都と幻の焼き物の里 -恭仁宮と奈良山所在の窯跡群の最新研究動向- 京都府教育委員会 桐井理揮 ・平城京の人々の暮らしを支えた平城山丘陵 奈良文化財研究所 神野恵氏	木津川市相楽会館 (参加者57名)

154	令和6年2月 24日(土)	『群集墳成立とその背景』 ・曾我部町法貴古墳群・法貴北古墳群の発掘調査 当調査研究センター 竹村亮仁 ・亀岡市内の後期古墳 亀岡市教育委員会 土井孝則氏 ・群集墳の造営と屯倉の成立 京都府立大学・当センター理事 菱田哲郎教授	ガレリアかめおか (参加者126名)
-----	------------------	---	-----------------------

(イ) 成果展 (京都府教育委員会委託事業)

「発掘された京都の歴史2023」と題して当調査研究センター及び各調査機関が実施した令和4年度の発掘調査成果速報展と「城陽市芝山古墳群」に焦点をあてた企画展を行った。総観覧者数は2,635名である。

- ・テーマ:「発掘された京都の歴史2023」
- ・会期:令和5年8月5日(土)～8月27日(日) 観覧者1,426名
- ・会場:向日市文化資料館
- ・会期:令和5年9月7日(木)～9月18日(月祝) 観覧者466名
- ・会場:京都府立山城郷土資料館
- ・会期:令和5年10月7日(土)～11月12日(日) 観覧者743名
- ・会場:京都府立丹後郷土資料館

成果展関連展示解説

- ・「発掘された京都の歴史2023」
- ・開催日:令和5年9月9日(土)
- ・会場:京都府立山城郷土資料館
- ・講師:筒井崇史課長補佐

成果展関連文化財講演会

- ・「発掘された京都の歴史2023」
- ・開催日:令和5年10月7日(土)
- ・会場:京都府立丹後郷土資料館
- ・講師:肥後弘幸課長補佐

(ウ) 機関誌

当調査研究センターの発掘調査状況の速報や埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行した。内容は、資料2のとおり。

第145号	8月刊行	1,500部
第146号	1月刊行	1,500部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行した。

- ・第13号「むかしの調理具 ー煮る・炊く・蒸すー」 12月発行
- ・第14号「古代の文字」 3月発行

【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

(オ) 京都の歴史体験講座（京都府教育委員会委託事業）

夏休み考古学体験講座として「勾玉をつくろう！」を実施した。また、京都府立京都学・歴彩館、京都府庁2号館1階ロビーを会場として、パネル展示やミニ企画展、ミニ講座を実施した。

○夏休み考古学体験講座

「勾玉をつくろう！」

開催日：第1回	令和5年8月16日（水）	午前10時～	参加者20名
第2回	令和5年8月16日（水）	午後2時～	参加者18名
第3回	令和5年8月17日（木）	午前10時～	参加者19名
第4回	令和5年8月17日（木）	午後2時～	参加者15名
第5回	令和5年8月18日（金）	午前10時～	参加者20名
第6回	令和5年8月18日（金）	午後2時～	参加者18名

会場：当調査研究センター

対象：乙訓管内の小学6年生

参加数：計110名

○企画展示「発掘された京都の歴史2023」

・パネル展示

期間：令和5年10月1日（日）～10月31日（火） 見学者488名

会場：京都府立京都学・歴彩館京都学ラウンジ

・歴彩館ミニ講座

「古墳時代における蛇行剣の出土とその背景」

開催日：令和5年10月5日（木）参加者74名

講師：小池 寛調査課長

「考古学からみた内陸部の『塩』の調達」

開催日：令和5年10月12日（木）参加者69名

講師：小池 寛調査課長

○京都府庁2号館ロビー展示

展示名：「芝山古墳群 ー200年続いたお墓ー」

期間：令和5年12月19日（火）～12月27日（水）

(カ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、京都府立図書館、市町村及び府内小・中学校などと連携して、出前講座や発掘調査体験授業を通して積極的な文化財保護の啓発を行った。

- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示
「天平の都・恭仁宮と古代寺院・井手寺 ー恭仁宮跡発掘調査 50 周年記念ー」
期 間：令和 6 年 2 月 2 日（金）～3 月 14 日（木） 参加者 839 名
会 場：京都府立図書館 2 階ナレッジベース

- 京都府立図書館・当調査研究センター連携展示に伴う講演会
「天平の都・恭仁宮と南山城の古代寺院」
開催日：令和 6 年 2 月 10 日（土） 参加者 73 名
会 場：京都府立図書館 3 階マルチメディアインテグレーション室
講 師：福山博章主任
- 長岡京市立長法寺小学校「勾玉教室」
開催日：令和 5 年 7 月 26 日（水） 参加者 51 名

- 洛南高等学校附属小学校「親子ふれあい行事」
開催日：令和 5 年 9 月 2 日（土） 参加者 158 名

- 八幡の歴史を探求する会
「木津川河床遺跡の調査」
開催日：令和 5 年 4 月 21 日（金）
講 師：高野陽子課長補佐

- 考古学研究会第 238 回関西例会
「京丹後市佐屋利遺跡の発掘調査について」
開催日：令和 5 年 7 月 22 日（土）
講 師：面 将道主任

- 文化財写真技術研究会
「デジタル技術の明暗」
開催日：令和 5 年 7 月 8 日（土）
講 師：武本典子主任

- 井手町文化財講演会
「栢ノ木遺跡の発掘調査成果と橘諸兄・橘嘉智子」
開催日：令和 5 年 9 月 12 日（火）
会 場：奈良文化財研究所
講 師：福山博章主任

- 新古代史解体新書講演会
「弥生王墓の展開ー日本海交易のネットワークを探る」
開催日：令和 5 年 9 月 20 日（水）
会 場：京都府立山城勤労者会館
講 師：高野陽子課長補佐

○新古代史解体新書講演会

「前方後円墳の出現－椿井大塚山古墳の被葬者と山背地域開発」

開催日：令和5年10月25日（水）

会場：京都府立山城勤労者会館

講師：高野陽子課長補佐

○第45回木簡学会総会研究集会

「京丹後市麩尾遺跡と出土木簡」

開催日：令和5年12月3日（金）

講師：筒井崇史課長補佐

○新古代史解体新書講演会

「群集墳の展開とその意義－古墳時代社会の変化を読み解く－」

開催日：令和6年1月24日（水）

会場：京都府立山城勤労者会館

講師：筒井崇史課長補佐

○新古代史解体新書講演会

「前方後円墳の終焉と古代寺院の出現－仏教伝来は古墳造営に終止符を打ったのか－」

開催日：令和6年2月21日（水）

会場：京都府立山城勤労者会館

講師：筒井崇史課長補佐

○第23回古代瓦研究会シンポジウム

「井手寺の瓦」

開催日：令和6年2月3日（土）・4日（日）

会場：奈良文化財研究所

講師：福山博章主任

○スライドでみるおとくへの発掘講演会

「長岡京の西市周辺における調査－右京七条一坊十五・十六町の調査から－」

開催日：令和6年3月3日（日）

会場：長岡京市立図書館

講師：松井 忍調査員

(キ) 「関西考古学の日2023」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック主催「関西考古学の日2023」関連事業として、記念講演会において講師派遣を行うとともに、当調査研究センターにおいて『中堅職員による考古学講座』を開講した。

○記念講演会「ヤマト王権の内部領域とその周縁」

開催日：令和5年10月7日（土）

会 場：長岡京市中央生涯学習センター

講 演：「5世紀ヤマト王権の内部領域」 菱田哲郎理事

発 表：「政治構造の変革と流通拠点の様相」 小池 寛調査課長

○『中堅職員による考古学講座』

第1講座「屋久島の考古学」

開催日：令和5年10月14日（土） 参加者 15名

会 場：当調査研究センター研修室

講 師：面 将道主任

第2講座「イギリス人がみた日本の古墳－大英博物館とゴーランドの古墳研究」

開催日：令和5年11月11日（土） 参加者 20名

会 場：当調査研究センター研修室

講 師：竹村亮仁主任

(ク) 「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）
京都向日町競輪場で開催される「向日市まつり」は、中止となった。

(ケ) 第31回大中まつり古代体験フェスティバル出展
内 容：考古学体験ブース出展「軒丸瓦を作ろう！」
開催日：令和5年11月4日（土） 参加者 101名
会 場：兵庫県立考古博物館・大中遺跡公園

(コ) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同ないし単独で行い、研究テーマに即した資料調査を実施した。次年度以降、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用資する。

申請者	共同研究者	テーマ
名村 威彦	個人研究	亀岡盆地周辺における集落出土土師器の研究 －古墳時代前・中期を中心に－
加藤 雄太	個人研究	四国で出土した京都の土人形と在地土人形の影響 関係について
面 将道	菅 博絵 竹村 亮仁	デジタルカメラ写真測量等を使用した発掘現場 の遠隔図化支援に関する実証的研究

(サ) 出土文化財再整理事業（京都府教育委員会委託事業）
出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。
平安京跡左京一条三坊三町（文化庁庁舎移転）300箱

(シ) SNSによる広報の取り組み

従来、センターの発掘調査に関する情報や普及啓発活動の取り組み状況については、ホームページに掲載してきた。しかし、即時性と閲覧者層の拡充のために「Facebook」「X」による広報を開始した。

(ス) 資料調査受入、資料貸出・写真提供事業

当調査研究センターでは、研究者や大学生の論文作成などの学術研究や博物館展示などの啓発事業に係る「資料調査」を受け入れている。また、「資料貸出」や「写真掲載依頼」に伴う写真提供を行っている。内訳は、資料4～6のとおりである。

6 その他

(1) 専門研修

全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加し、職員の資質向上に取り組む。一方、総務課職員を対象に（公財）公益法人協会が主催する会計セミナー等に参加した。主な研修は、以下のとおりである。

研修名	開催日	受研者	テーマなど
(公財)公益法人協会法人セミナー	令和5年5月9日	常田泰典	新任の役員・職員のための基礎から確認する制度運営セミナー
(公財)公益法人協会法人セミナー	令和5年6月14日	常田泰典	新任の役員・職員の方に一度は聞いて欲しい話
文化庁博物館支援調査官講演	令和5年6月29日	筒井崇史 武本典子	社会に求められるためにこれからの博物館
3D化技術意見交換会	令和5年7月10日	武本典子 名村威彦	
(公財)公益法人協会会計セミナー	令和5年8月3日～4日	高野真衣	基礎編
高精度近赤外線撮影技術意見交換会	令和5年10月17日	武本典子	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	令和5年11月1日～2日	小池 寛 松浦悟子	
IIIF 画像生成技術研修会	令和5年11月1日	武本典子	
全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック研修会	令和6年1月19日	面 将道 名村威彦	3D撮影研修
全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックデジタル技術等活用推進委員会	令和6年1月29日	筒井崇史 武本典子	デジタル技術等活用（オンライン）